DIALOG(R)File 345:Inpadoc/Fam.& Legal Stat (c) 2003 EPO. All rts. reserv. 2349386

Basic Patent (No,Kind,Date): JP 53029098 A2 780317 <No. of Patents: 001>

GLASS PLATE OF LIQUID CRYSTAL PANEL AND ITS PRODUCTION (English)

Patent Assignee: DAINI SEIKOSHA KK Author (Inventor): TANAKA KOJIROU IPC: *G09F-009/00; G02F-001/13

JAPIO Reference No: *020064E002038;

Language of Document: Japanese

Patent Family:

Patent No Kind Date Applic No Kind Date

JP 53029098 A2 780317 JP 76103340 A 760830 (BASIC)

Priority Data (No,Kind,Date): JP 76103340 A 760830

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2003 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

00227098

GLASS PLATE OF LIQUID CRYSTAL PANEL AND ITS PRODUCTION

PUB. NO.:

53-029098 [JP 53029098 A]

PUBLISHED:

March 17, 1978 (19780317)

INVENTOR(s): TANAKA KOJIRO

APPLICANT(s): SEIKO INSTR & ELECTRONICS LTD [000232] (A Japanese Company or

Corporation), JP (Japan)

APPL. NO.:

51-103340 [JP 76103340]

FILED:

August 30, 1976 (19760830)

INTL CLASS:

[2] G09F-009/00; G02F-001/13

JAPIO CLASS: 29.2 (PRECISION INSTRUMENTS -- Optical Equipment); 44.9

(COMMUNICATION -- Other)

JAPIO KEYWORD:R005 (PIEZOELECTRIC FERROELECTRIC SUBSTANCES); R011

(LIQUID CRYSTALS); R124 (CHEMISTRY -- Epoxy Resins)

JOURNAL:

Section: E, Section No. 33, Vol. 02, No. 64, Pg. 2038, May

17, 1978 (19780517)

ABSTRACT

PURPOSE: To obtain an integrated electronic block by providing a hole for accommodating liquid crystal and a hole for accommodating an electronic part between two sheets of lapped glass plates.

(9日本国特許庁

①特許出願公開

公開特許公報

昭53-29098

60Int. Cl2. G 09 F 9/00

G 02 F

識別記号

②日本分類 庁内整理番号 101 E 9 101 E 5

104 G 0

7129 - 547013-54 7348 - 23 **63公開** 昭和53年(1978) 3 月17日

発明の数 2 審査請求 未請求

(全 4 頁)

砂液晶パネルのガラス板およびその製造方法

顧

1/13

昭51-103340

创特 22出

昭51(1976) 8 月30日

@発 明

田中小次郎 者

東京都江東区亀戸6丁目31番1

号 株式会社第二精工舎内

願 人 株式会社第二精工舎 **①出**

東京都江東区亀戸6丁目31番1

号

個代 理 人 弁理士 最上務

液晶パネルのガラス板およびその製 発明の名称 造方法

特許請求の範囲

- (1) 液晶を収容する穴と、電子部品を収容する穴 とを有する液晶パネルのガラス板。
- 電子部品が液晶を駆動する回路を含む I C チ ップである特許請求の範囲第1項記載の液晶パネ ルのガラス板。
- (3) 電子部品を収容する穴が2個あり、一方の穴 が水晶振動子を収容し、他方の穴が上記水晶振動 子を利用する発振回路並びに液晶を駆動する回路 を含むICチップを収容する特許請求の範囲第1 項配戦の液晶パネルのガラス板。
- (4) ガラス板が4角形の少なくとも1隅の角を大 きく除去した形状をなした特許請求の範囲第1項、 あるいは第3項記載の液晶パネルのガラス板。
- ガラス板を型成形して電子部品を収容する穴

を形成した後、上記ガラス板の表面を研摩し、次 にエンチング処理により上配ガラス板に液晶を収 容する穴を形成する液晶パネルのカラス板の製造 方法。

発明の詳細な説明

本発明は液晶パネルのガラス板およびその製造 方法に関するものである。

従来の液晶パネルに用いられる液晶を収容保持 する一対のガラス板は、スペーサによつて板晶を 充収保持する所定の空間を形成するようにした平 板構造になつているoとのような平板構造のカラ ス板を用いる液晶パネルにあつては、ガラス扱と は別にスペーサが必要であり、しかもガラス板と スペーサとを緊密に接合して液晶を確実に充填保 持するよりにしなければならないため、製造上級 密な作菜が要求される。また、カラスな間に液晶 を駆動する回路等を含むICチップ、あるいはそ れと水晶振動子を実装し、液晶表示装盤と催子部 品とを一体に偏えた電子プロックを作るような場

合には、ICチンプ、水晶振動子を確実に気密封止する必要がある。しかし、液晶を収容するのに適したガラス板間の間隔と、ICチンプ、水晶姫動子等の電子部品を収容するのに適したガラス板間の間隔とが相连し、実際の製作に当つては極々の問題があり、実現が困難な状況にある。

本発明は、被晶袋示装置と電子部品とを一体に 備えた電子プロックを、上述の設定を确たし、かつ容易に作ることを可能にした液晶パネルのカラス板およびその製造方法を提案するもので、以下、 図面を参照しつつその詳細を説明する。

本発明に従りガラス板を適用した板晶パネルの一実施例を示す事 1 図において、符号 1 は平らな 装面を有するガラス板、2 は 2 つの穴 3 , 4 を有 したガラス板である。ガラス板 2 はカラス板 1 に対のするよりにシール材 5 を 1 してガラス板 1 に 気密に接合される。ガラス板 1 にカラス板 2 を接合するととにより、両者間には 穴 3 , 4 による空間が形成され、穴 3 にむつく

- 3 -

収容する比較的深い穴 4 を形成した後、表面を研 **學し、次にエッチング処理により比較的投い穴 3** を形成する。このガラス板2は、第3図から明ら かなよりに、被晶1を収容する穴3の頭には、セ グメント 組極 ai~gs に対応する 4 個の透明電極で ある桁電極 Y1 , Y2 , Y2., Y4が形成され、また、ガラ ス板1に接合した際にガラス板1の接続電極 10, 11 と符合する箇所には接続電極 10a,11aが形成 されている。更に、ガラス板2には、前配桁電磁 Yi~Y4、接続電極 10a,11aとを相互接続する配線 パターン15が形成されている。上配桁電極 Yi~ Ya、接続電極 10a,11a、配線パターン 1 5 は全て 透明電極で作られている。ガラス板2に形成され る電極はガラス板1に形成するものよりパターン 間距離が大きい、比較的大さつばなものであるた め、穴る,4が存在するにもかかわらず、蒸別に よつて的確化形成することができる。

ガラス板 1 とガラス板 2 とを接合、かつ、封止 するシール材 5 としては、エポキシ、あるいはナ イロン容膜が使用され、それは、ガラス板 2 の穴 特開昭53-29098(2)間にはガラス板1に形成した小孔6を介して液晶7が充填される。また、穴4に基づく空間にはガラス板1にポンディングされた液晶転動回路を含む低子部品としてのICチンブ8が収容される。

3 , 4 以外の平ちな面の略全被をガラス被1 に対して接合する役割を果す。従つて、シール材 5 によるシール面積が広く、穴4 に収容されるI O チップ 8 の良好な気密封止が実現される。なお、シール材 5 は絶縁性のものに特に限定される必要はなく、例名は電形成役のガラスが1 , 2 を必一ル材 5 を介して接合する際には場合には導電性のものの使用が可能である。ガラス板 1 , 2 をシール材 5 を介して接合する際には一方に導電接着剤を塗布しておき、ガラス板 1 , 2 の接合と同時に、対応する。

I O チップ 8 は、第一図にその一具体例を示すように、端子 Taに入力される表示信号を端子 Taに入力される表示信号を端子 Taに入力される前御クロックパルスに応答して記憶するレジスタ 1 6 と、上記削御クロックパルスに基づいて書き込み指令パルスを発生するパルス発生回路 1 7 と、上記パルス発生回路 1 7 から出力される響き込みパルスに応答してレジスタ 1 6 の記

位内容を配位するレジスタ18と、レジスタ18 の配位内容をコード変換するデコーダ19と、デコーダ19の出力に応じて前述した液晶表示装置 21を駆動するドライバ20とから構成されている。なお、端子 T1, T3 に係わる結様については図 面には示されていないが、それ等には上記の各回 路を動作させる電源が接続される。

第一回は、本発明に従うガラス板の他の契約例を適用した液晶パネルを示すもので、符号22は平ちなガラス板、23は3つの穴24,25,26を有するガラス板である。穴25,26は型成形によつで作られ、穴24は数面を研撃した後のエッチング処理によつて作られる。ガラス板22,23はシール材27によつて互いに接合されるが、穴24によつて得られる空間には液晶28が充填され、穴25によつて得られる空間には水晶最勤子29が収容され、穴26によつて得られる空間には水晶最動子29が収容され、穴26によつて得られる空間には水晶最少子29が収容される。ガラス板と20数面には液晶28に対応するセグメント電

- 7 -

ップ等の電子部品を的確に気密封止して実装する ことができ、液晶表示装置と電子部品とを一体に 偏えた電子ブロックを容易に製造することが可能 で、充分に所期の目的を達成し得、実施上多大な 効果を姿する。

図面の領単を説明

第1 図は本発明に従うガラス板を適用した 松崎 パネルの一突施例を示す断面図、第2 図は第1 図 における一方のガラス板の平面図、第3 図は同じ く他方のガラス板の平面図、第4 図は第1 図およ び第2 図におけるICチップの一具体例を示すプ ロック・ダイヤグラム、第5 図は本発明に従うガ ラス板を適用した液晶パネルの他の契施例を示す 断面図である。

1,23 ・・ガラス敬

2,23 ・穴を有したガラス板

5,24 ・液晶を収容する穴

4,25,26 · 電子部品を収容する穴

5,27 ・・シール材

特別昭53-29098(3) 極(図示せず)、並びに、それとICチップ30、水晶短期子29等を相互談裁すら配線パターン(図示せず)や、外部談試のための囃子(図示せず)等が形成されている。なお水晶短期子29、ICチップ30はガラス破22に適宜固定されている。ガラス板23の穴24の歯には上記セグメント電極(図示せず)に対応する桁電極(図示せず)と所要の配線パターン(図示せず)が形成されている。ガラス板22,23は図歯では明らかでないが、前述した実施例と同様に四角形の2階の角を大きく取り除いた形状をなしている。

以上、図示した実施例に基づいて本発明に従う 改品パネルのガラス板の評細を説明して来たが不 発明は図示の実施例に限定されることなく種々の 変更、あるいは改良がなされ得るものである。

上述したように本発明に従う被占パネルのガラス板は、液晶を収容する穴、並びに電子部品を収容する穴を有しているため、ガラス板と別体に形成する従来必要であつたスペーサが不要で、しかも、ガラス板間に液晶以外の水品接動子ごI C チ

- B -

7,28 ·· 液晶

8,30 … 牡子部品としてのICチップ

29 : 電子部品としての水晶返動子

81~84 ·· セクメント電極

Yı~Y···桁電極

Ti~Ti ·· 外部回路接続のための端子

以上

代理人 设上



-497→

特別昭53-29098(4)



